

欧州特許庁と中国国家知識産権局、2013年の年次作業計画に署名

2012年12月11日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁(EPO)は、12月7日、バティステリ EPO 長官と田中国国家知識産権局(SIPO)局長とが、前日にブリュッセルで開催された両庁間の年次会合において、データ交換の改善と特許の質の向上の2点に焦点を当てた2013年の年次作業計画に署名した旨を報じた。

本プレスリリースによれば、バティステリ EPO 長官と田 SIPO 局長は、同年次作業計画において、「EPO の再構築された EPOQUE 特許検索システムの SIPO の検索エンジンへの移管」、「両庁により提供される、書誌的事項、要約、フルテキストといったデータ入力の商品品質改善」の2点に特に焦点を当てた。また、同年次作業計画には、その他の項目として、SIPO 審査官による ECLA を基礎とした協力特許分類「CPC(Cooperative Patent Classification)」の中国文献への付与について昨年開始された EPO による研修も含まれる。

本プレスリリースは、バティステリ EPO 長官と田 SIPO 局長が、同年次計画の署名に当たり、両庁間の協力関係の成果に大いに満足している旨強調しつつ、それぞれ以下のように語ったと報じた。

バティステリ EPO 長官は、「昨年は、作業計画のうちのほぼすべての活動について、これまでの両庁の協力の歴史の中で最良の、素晴らしい成果が得られた年となった。これは、我々がいかに適切に協力を行っており、我々の相互協力関係が双方にとっての具体的なコスト削減・効率化として結実しているかを証明するものである」と発言。田 SIPO 局長は、「EPO との緊密な協力関係は、強力かつ効率的な特許制度を中国で構築するのに役立っている」と評価した。

本プレスリリースに先立ち、同年次作業計画が署名された両庁間での年次会合において、両庁は中国語 - 英語間の機械翻訳サービスを開始する旨を公表していた。

— EPO による本プレスリリースは、以下参照 —

[Co-operation with China reaches new heights](#)

— EPO と SIPO との中国語 - 英語間の機械翻訳サービス開始に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁と中国国家知識産権局、中国語 - 英語間の機械翻訳サービスを開始 \(2012年12月7日\) \(PDF\)](#)

— SIPO 審査官の ECLA 分類付与についての EPO の協力に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁、中国国家知識産権局と更なる協力に関する作業プログラムに合意 \(2011](#)

[年12月2日\) \(PDF\)](#)

(以上)